

## Door 断熱玄関扉



イメージ写真 ※子扉はありません

玄関ドアや窓から逃げるエネルギーは家全体の 30%と言われています。断熱性能の高い玄関ドアは省エネに欠かせないアイテムです。

### 破られにくい2ロックで、ピッキング・カム送り対策も万全



左右どちらから差し込んでもしっかり開けられる W (ウェーブ) キー  
 ●縦向きのカギ穴です。  
 ●砂やホコリによるトラブル防止に有効。

人目を避ける侵入盗にとって、解錠に手間と時間のかかるカギほど狙いにくいもの。「フォワード」は、2ロックを標準装備しています。さらに、シンダー自体が不正解錠しにくい構造なので、ピッキングなどによる「施錠開け」対策にも効果的です。

### 取り外し&施錠確認ができる「セキュリティサムターン」。

ボタンを押すだけでサムターンを取り外せるので外出時や就寝時に外しておけばガラスを割られて手を入れられても開けられる心配がありません。カギの閉め忘れによる「無締まり」も防ぎ、施錠表示。



解錠時は、赤色(危険)の表示マークです。

サムターンが付いた状態 サムターンを抜いた状態

### 2つの鎌付デッドボルトが、「こじ破り」を徹底ガード。



メイン箱錠に加え、サブ箱錠も「こじ破り」対策に有効な鎌付デッドボルト仕様です。玄関ドア本体と、枠・子扉のかみ合わせ部分を強化することで、さらに防犯性能を向上させています。

## Wall フランス生まれの日本育ち ジョリパット (外装材)



校倉 (あぜくら)

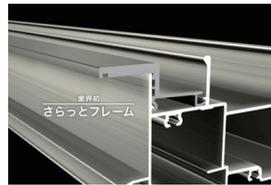
色褪せしにくく、色合いや質感を長時間保持し高い耐久性をもつのでメンテナンス性が高く経済的な素材です。防汚機能のほか防藻、防カビ機能も備えています。またその柔軟性によりクラック (ヒビ) が入りにくいようになっています。

※道路に面する部分に使用

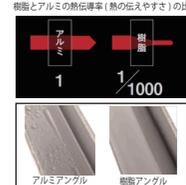
門柱にはジョリパットに玉石を混ぜた粒状感のあるナチュラルな仕上げになります。

## Window 断熱サッシ + 複層ガラス

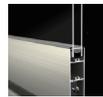
### 熱を伝えにくい樹脂アングル (さらっとフレーム)



樹脂は非常に熱を伝えにくい素材です。樹脂の熱伝導率 (熱の伝えやすさ) はアルミの約 1/1000 といわれています。デュオ PG は内装材と接するアングル部に樹脂を採用。温度差により発生する結露を抑え、結露による内装材の腐蝕を防ぎ、住宅の長寿命化に貢献します。



### 断熱性・防露性・防音性・防犯性に優れた複層ガラス



冷気・暖気の最大の侵入口である開口部において、複層ガラスを採用すると断熱効果が高まり、快適性がアップ。冬暖かく、夏涼しい室内温度を保つことができます。また、複層ガラスは結露を抑えたり、遮音にも効果を発揮します。

### 確実にロックをかけて侵入口を遮断する クレセント「空かけ防止機構」 特許取得済

障子が確実に閉まっていない場合、クレセントが最後まで回らない「空かけ防止機構」を標準装備しているので、確実にロックがかかります。



障子が開いている状態

トリガーが受けに押されないで、障子が開いている状態クレセントは回りません。

### 簡単に侵入させない・侵入しにくいと思わせる 2 ロック

デュオ PG では、2ロックを標準装備しています (一部品種を除く)。これにより、侵入までの時間を稼ぎ、侵入をあきらめさせる心理効果も期待できます。



### 1 階部分は更に防犯性を UP

引違い窓にはシャッター、その他の窓には防犯ガラス、面格子を設置しています。



3.5型液晶の見やすい画面 (2 F)。1 F でも対応することが出来ます (1 F はモニター無し親機)。



玄関灯 (室外) 玄関ホール (室内) の照明を人感センサーにしました。荷物で手が塞がっている時は便利です。防犯にも役立ちます。



モルタルの欠点クラックを克服、特殊長繊維を含んだモルタルの上に樹脂を含んだクリームを塗ってモルタルを強化、建物からモルタルに伝わる応力を分散させるラスシートを使うことで更に強くなります。薄く塗ることが出来るモルタルなので壁の重量も低減し (従来のモルタルの約 2/3 の材料) 建物の構造に対する負担が少なくなります。耐久性・防水性にも優れています。



軒の出  
 軒の効果  
 ・なんと言ってもカッコいい。水平方向に広がって見えるので安定感と迫力が。高級住宅でよく使われています。  
 ・雨が外壁に当たりにくいので外壁が汚れにくく耐久性にも効果があります。  
 ・外壁が雨に濡れると湿気とじめじめします。梅雨時など雨が降っても窓が開けられます。  
 ・冬の日差しは取り込み、夏の日差しを防ぎます。  
 軒は高温多湿な日本の気候風土に合っています。

## Structural 建物の構造

### 「強さ」へのこだわり、新時代の木造軸組工法

#### 基礎は建物と一体のベタ基礎工法

頑強さで定評のあるスラブ一体型基礎を採用。住宅金融支援機構の基準を上回る力強い基礎になっています。

#### カワダ式羽目板ボルトで「ゆがみ」「ゆるみ」を防止



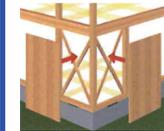
木材の乾燥や湿気による伸縮で、絶えず動き続ける木造建築。これにより、従来の製品では建物の梁と梁をつなぐボルトの緩みは避けられない現象でした。そこで、特許金物『カワダ式羽目板ボルト』を使用。スプリングの強力な締め付けにより半永久的に構造材の「ゆるみ」が出ない住まいを実現します。

#### 建物を支える集成柱

柱や梁などの構造材には割れや狂いが少ない集成材を採用しています。薄い板を複数枚重ねて接着剤で圧着することで、ムクの柱の約 1.5 倍という強度を誇ります。



#### 外周部には構造用合板



外周全ての柱と梁、土台に構造用合板 9 mm を貼付け一体化することで、箱状の強固な躯体としました。

#### 床構造用合板 24mm で耐震性、耐久性アップ



床構造には大引きと呼ばれる材を 90 mm 間隔で網の目状に配し、その上に 24 mm 厚の構造用合板を敷き込んだ「剛床工法」を採用。

#### ホールダウン金物で基礎と柱を緊結



直下型地震時などにおける柱の引き抜き防止に極めて有効で、住まいの強度はさらにアップします。

#### 床下全周換気



床下の湿気やカビを排除するため、基礎と土台の間に硬質樹脂パッキンを入れ良好なコンディションを維持します。

#### 外壁屋根通気工法

壁体内の結露を防ぎ常に風通しの良い状態になる工夫をしています。また屋根の排熱換気も家の快適性・木材の健康維持には欠かせません。